

菲総発1187号  
令和6年3月26日

地区長  
組長各位

菲崎市長 内藤久夫  
(公印省略)

防災・減災関係周知文の組回覧について（依頼）

春分の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本市防災行政にご協力いただき、感謝申し上げます。

別紙のとおり、「災害に備えて減災力アップ」及び「感震ブレーカー」について、組回覧で周知していただくようお願いいたします。

お問い合わせ

菲崎市役所総務課危機管理担当  
電話：0551-22-1111（内線 399・339）



お知らせ

地震の時、自動で電気を遮断できる  
感震ブレーカーをつけましょう

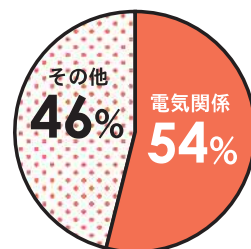
ご存じですか？

地震による**火災の過半数は**  
**電気が原因**という事実。



東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が**電気関係の出火**でした。地震が引き起こす電気火災とは、**地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災**のことです。

東日本大震災における火災の発生原因



※日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より作成

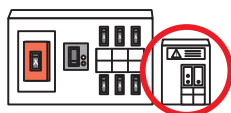
電気火災対策には、**感震ブレーカー**が効果的です。

「**感震ブレーカー**」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

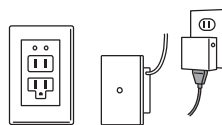
主な感震ブレーカーの種類



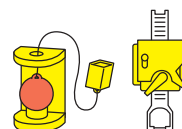
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

**感震ブレーカーは、延焼危険性や避難困難度が特に高い「地震時等に著しく危険な密集市街地(※1)」において、緊急的・重点的な普及促進が必要とされています。**

内線規程(※2)において、感震ブレーカー(分電盤タイプ)の「地震時等に著しく危険な密集市街地」の住宅等への設置が勧告的事項となり、それ以外の住宅等への設置が推奨的事項となりました。

※1:「地震時等に著しく危険な密集市街地」とは「密集市街地のうち、延焼危険性又は避難困難度が高く、地震時等における最低限の安全性が確保されていない、著しく危険な密集市街地」と定義(住生活基本計画(全国計画)。2016年3月閣議決定)。2020年までに当該地域をおおむね解消することを目標としている。

※2:「内線規程」とは、電気需要場所における電気設備の保安を確保することを目的として作成された民間規格です。設計、施工についての技術的な事項をすべて包含し、これをわかりやすく記述したもので、(一社)日本電気協会需要設備専門部会において作成されました。

# 感震ブレーカー設置の留意点

## 製品ごとの特徴・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！

### 分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

費用：約5～8万円(標準的なもの)  
※電気工事が必要

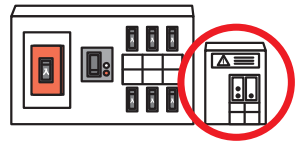


### 分電盤タイプ(後付型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能

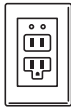
費用：約2万円  
※電気工事が必要



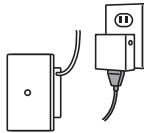
### コンセントタイプ

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

(埋込型)  
壁面などに取り付け  
て使うもの  
※電気工事が必要



(タップ型)  
既存のコンセントに  
差し込んで使うもの  
※電気工事が不要

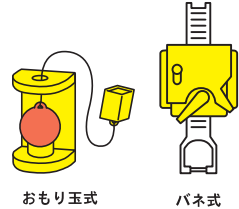


費用：約5千円～2万円程度

### 簡易タイプ

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。

費用：約2～4千円程度  
※ホームセンターや家電量販店で購入可能  
(電気工事不要)



## 感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】

### 基本動作

地震探知後、3分が経過すると、主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

地震検知



検知から3分後

地震探知後3分以内に  
停電が発生した場合

復電直後に主幹漏電ブレーカーを  
自動遮断します。

## 感震ブレーカーの設定に際しては、

### 急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組むことが必要です。

- 生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
  - 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。
- ※感震ブレーカーの設置に関わらず、地震時やその他の自然災害時にも大規模な停電が発生するおそれがあることから、平時から停電対策に取り組みましょう。

## 耐震対策等と合わせて取り組むとさらに効果的です。

- 避難路の確保等のために、建物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組みましょう。
- 復電する場合には、事前にガス漏れ等がないことの確認や、電気製品の安全の確認を行ってください。
- 仮に、復電後、焦げたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカーを遮断し、再度、安全確認を行い、原因が分からない場合には電気の使用を見合わせる必要があります。
- 定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品等の交換を行きましょう。

## この資料に関するお問い合わせ先

- 経済産業省商務流通保安グループ 電力安全課 〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号 TEL:(03)-3501-1742  
ホームページ([http://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/oshirase/2015/10/270105-1.html](http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/270105-1.html))
- 内閣府政策統括官(防災担当) 〒100-8914 東京都千代田区永田町1丁目6番1号 中央合同庁舎第8号館 TEL:(03)-5253-2111(大代表)  
ホームページ(<http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaitaisaku/index.html>)
- 消防庁 予防課 〒100-8927 東京都千代田区霞が関2丁目1番2号 TEL:(03)-5253-7523

感震ブレーカー購入に関して：電気工事を伴うものはお近くの電気工事店へ、電気工事を伴わないものはお近くの防災用品等を取り扱うお店へお問い合わせください。

# 災害に備えて減災力アップ

◆ご家庭での災害への備えを今一度考えてみましょう◆

食料・飲料などの備蓄、十分ですか？  
地震があった時、「今回こそ備蓄しよう」と思っていたのに  
ついつい先延ばしにできていませんか？



避難所に限らず、避難生活をどこで送るとしても、日頃から各家庭に必要な物を揃えておくことが重要です。  
まず**1週間分の水とカセットコンロ等の熱源**を確保。カセットボンベ等も忘れずに！

ああ・・・今回こそ備蓄しよう

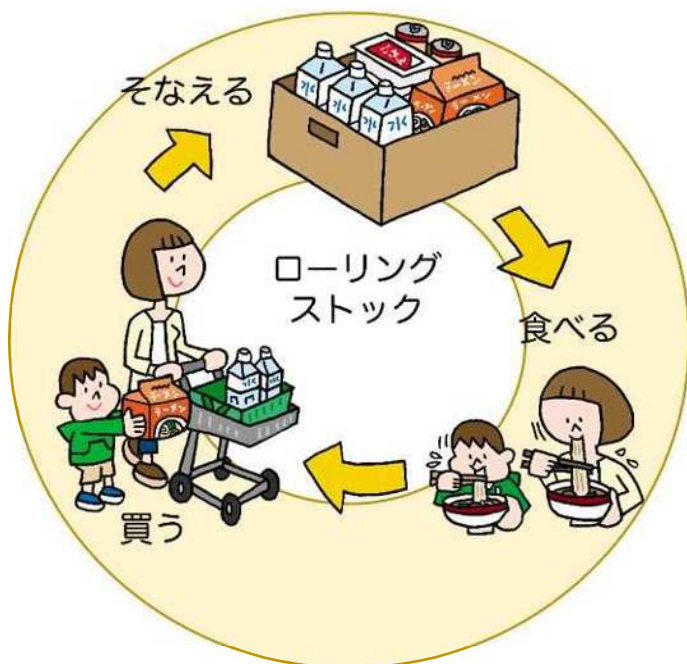
## ◆食べて備えるローリングストック◆

いつも使うもの1週間分(又はそれ以上)を最初に少し多めに買って、使う・食べる⇒補充⇒使う・食べる⇒補充を繰り返すローリングストック方法で無理なく備蓄に取り組みましょう。

◆高齢者、乳幼児、慢性疾患等への配慮



・高齢者には、柔らかくて食べやすい、おかゆのレトルトパックや介護食等

慢性疾患の方や、介護を要する方、食物アレルギーの方は、医療機関より推奨された食事メニューを参考に自分にあった食品を追加で備えておくことをおすすめします。





☆今回、被災地での支援活動を行った市職員からの報告によると、避難生活では「野菜が不足しがち」になり一緒に作業していた自衛隊員も野菜ジュースなどで補っていたとのこと。備蓄品には野菜が摂れるものも加えておくことをおすすめします。他にも、防水の手袋（グリップが効くもの）を欲しいという声もありました。


|   |  |
|---|--|
|  <p>災害時の備蓄について<br/>韮崎市</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水は生活用水も考えると1人1日3ℓ</li> <li>・常備薬などは必ず備蓄する。</li> <li>・別紙のリストを参考にしてください。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に役立つ簡単レシピなど実践的な内容のガイドブック、食品備蓄のポイントなど</li> </ul>                  |  <p>災害時に備えた食品ストックガイド（農林水産省 HP）</p>     |

●災害が起きる前にできること 家具の置き方、工夫していますか？

大地震が発生したときは「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。



・家具の固定方法などはこちらも参考に

|  |   |
|--|---|
|  <p>地震による家具の転倒を防ぐには一あなたが守る-家族の安全（消防庁）</p> | <p>家具の転倒によって下敷きになったり家具の転倒や散乱によって逃げ遅れることを未然に防ぎましょう</p> |
|--|---|

### 非常持出品と備蓄品リスト（一例）

このリストも参考に、自分に必要なものを考えてリストを作りましょう。

|          | 非常持出品               | 備蓄品                |
|----------|---------------------|--------------------|
| 一般的な持出品  | 飲料水                 | 飲料水(1人あたり1日3ℓ)     |
|          | 食料(1人あたり3食×3日分)     | レトルト食品・アルファ化米      |
|          | 財布(現金)              | 給水袋(ポリタンク)         |
|          | 預金通帳・キャッシュカード       | カセットコンロ(カセットボンベ込み) |
|          | 健康保険証               | ティッシュ              |
|          | 顔写真入り身分証明書(運転免許証等)  | ウェットティッシュ          |
|          | 懐中電灯                | 紙皿・紙コップ            |
|          | 携帯ラジオ               | ラップ                |
|          | 乾電池                 | 簡易トイレ              |
|          | 毛布、タオルケット           | 水のいらないシャンプー        |
|          | 歯ブラシ                | ビニール袋              |
|          | ナイフ・缶切り             | ランタン               |
|          | 衣類(着替え)             | 長靴                 |
|          | 軍手                  | 発電機                |
|          | 上履き(スリッパ)           |                    |
|          | 常備薬                 |                    |
|          | お薬手帳                |                    |
|          | 携帯電話                |                    |
|          | 携帯電話充電器(モバイルバッテリー等) |                    |
| 粉ミルク・哺乳瓶 |                     |                    |

|                            |                |  |
|----------------------------|----------------|--|
| 感<br>染<br>予<br>防<br>物<br>品 | マスク(サージカルマスク)  |  |
|                            | 石けん            |  |
|                            | 消毒液            |  |
|                            | 体温計            |  |
|                            | タオル・ハンカチ       |  |
|                            | 使い捨て手袋(ビニール手袋) |  |
|                            | ティッシュ          |  |
|                            | ウエットティッシュ      |  |
|                            | テント(自立式・ドーム型)  |  |

**こんなものも用意しておきましょう！**

#### 乳幼児のいる家庭

粉ミルク、哺乳瓶、離乳食、スプーン、オムツ、清浄綿、だっこひも、バスタオルなど

#### 妊産婦のいる家庭

脱脂綿、ガーゼ、さらし、T字帯、清浄綿、新生児用品、ティッシュ、ビニール風呂敷、母子健康手帳

#### お年寄りや障害者のいる家庭

着替え、オムツ、ティッシュ、障害者手帳、補助具の予備、常備薬、予備のメガネ、緊急時の連絡先

お問い合わせ  
総務課危機管理担当  
22-1111 (339・399)